

地域防災力の向上を目指して

大規模災害時の指定避難所となっている小和森小学校で9月3日、避難所設置・運営訓練が行われました。

今回は、災害対応全般にわたる従来の総合訓練から趣向を変え、避難所運営の中心として期待される自主防災組織や市役所避難所担当を対象に、避難所での対応に焦点を絞った個別訓練を実施しました。

訓練には、青森県防災士会弘前支部長をはじめ支部会員、青森県危機管理局職員、八戸地域広域市町村圏事務組合八戸消防署員らを講師に迎え、小和森小学校を最寄りの避難所とする自主防災組織5団体(大光寺、光城、平成、小和森、荒田)と市役所避難所担当職員ら約70名が参加しました。

避難所設営の考え方や実践的な設営・役割分担などを学び、またゲーム型式のHUG(避難所運営ゲーム)を通じ、避難所での対応能力の向上を目指しました。

▶避難所実地訓練



実際の避難所となる体育館で、避難者の受入時の手順を学びました。



案内誘導班では、テープを使って居住区エリアを区分けし、実際にダンボールで避難スペースの間仕切りを行いました。

▶炊き出し訓練



大光寺町会自主防災会では、実際の災害用炊き出し釜を使用したカレーライスの調理が行われ、昼食時には参加者らに振舞われました。

▶HUG(避難所運営ゲーム)訓練



避難所のレイアウトを自由に決め、様々な事情を抱える避難者をスペースに配置していく作業が行われ、対応の難しさを経験しました。

問合せ：総務課 消防防災係 ☎44-1111 (内線1352・1354)